

## I. フロン類の使用の合理化

- 新たな低GWP冷媒の開発、自然冷媒機器の導入支援の継続
- 安全性の確保を大前提に、機器更新までの過渡的な措置としてのレトロフィットの活用

## II. 製品に使用されるフロン類の管理の適正化

### ① 機器使用中の大気放出の抑制

- 管理機器リストの作成の制度化
- 算定漏洩量報告制度上の特定漏洩者の削減促進
- 定期点検の合理化（常時監視システムの位置づけの明確化）

### ② 機器廃棄時の冷媒回収の徹底

- みだり放出禁止規定・表示規定の対象機器に家庭用エアコンを追加
- 事前確認・説明義務の対象工事に、一定規模以上の修繕・模様替え工事を追加
- 冷媒回収作業に係る時間・通電環境の確保推奨
- 充填回収業の登録・更新時における技術水準の確認
- 実機・管理機器リスト・機器廃棄時の引き取り証明書の紐づけ

### ③ 今後の再生HFCsの需要増を見据えた対応

- 「第一種フロン類中間集約業（仮称）」の新設、証明書手続きの合理化
- 混合冷媒を分離再生する行為の扱いの明確化
- 引き取ったフロンに係る再生業者の再生義務の明確化
- 再生業における再生冷媒の品質の基準化
- 再生処理に係る機器ユーザーへのインセンティブの付与

※ I・IIに関わる法制度の周知・実効性向上や支援措置も合わせて検討・実施。

# 今後必要と考えられる取り組みに係る主な御意見

## Ⅲ. 中長期的な課題

- GWPのみならず省エネ性・安全性などをも総合的に考慮した冷媒転換、将来の需給の見通し
- 使用中の漏洩の防止や回収技術・条件によらず回収量向上に資する機器・配管設計の開発